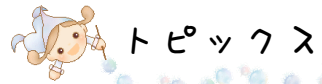


総合周産期母子医療センターだより

平成30年8月号

2018年8月15日発行 (No.152)
山口県立総合医療センター
〒747-8511 山口県防府市大字大崎 10077 番地
http://www.ymghp.jp
tel:0835-22-4411 (代表)



トピックス

NIPT (いわゆる新型出生前検査) の今



NIPTは、2013年4月から日本で受検可能となった出生前遺伝学的検査です。既に5年が経過しましたので「新型」とは言えないかもしれません(1960年代から行なわれている羊水検査に比べると確かに新型ですが...)。以前のセンターだより(2015年4月号)に記載しましたように、妊娠中には、胎盤から古くなって剥がれ落ちた細胞(胎児と同じDNAを持つ細胞)の欠片が母体の血液の中に混入しています。その欠片を母体から採血をすることで取り出し、胎児の染色体を分析するというものです。採血した母体血液には胎児の何倍もの母体DNAが入っていますので、100%の診断にはなりません。結果が「陽性(染色体異常症の可能性あり)」と出た場合、母体の年齢により染色体異常症の頻度が異なります。元々、染色体異常症の頻度の低い35歳未満の方が「陽性」と出た場合、染色体異常症の頻度は約50%です。35歳の場合は約80%、40歳の場合は約95%です。35歳未満の方の場合、2人に1人は「はずれる」ということです。40歳の方の場合でも、20人に1人は「はずれ」ます。不確実な結果をもとに命を判断することはできませんので、「陽性」となった方は必ず羊水検査を行なって羊水とともに「胎児の細胞(羊水中に浮遊する胎児の垢)」を採取して100%確実な結果を得なければなりません。NIPTはこのような検査ですので、出産予定日に35歳以上になる方だけを対象とし、十分な説明を受け、検査結果の意味についてご理解頂けたご夫婦(カップル)に限定した検査(臨床研究)として行なわれてきました。

一方、年齢に関係なく誰でも受検できるクアトロテスト(母体血清マーカー検査)が陽性になった場合の染色体異常症の頻度は約2%(50人に49人はずれる)ですので、NIPTは極めて精度の高い検査です。このため、「精度の低い検査は誰でも受けられるのに精度の高い検査は限られた人しか受けられないのは不公平だ」という意見が出るのも当たり前かもしれません。また、検査を受けるためには各県に1~数施設ある認可施設の予約を取って夫婦で受診し、長い(?)説明を聞かなければなりません。結果を聞く時も夫婦で受診しなければなりません。「検査の対象になっていない」、「夫も休みを取れない」、「理解できない長い話は聞きたくない」一。「でもNIPTを受けたい」という方が、無認可施設で主治医の紹介なしに検査を受けているという状況にあります。その結果、「コウノドリ23巻」(講談社)にあるように、十分な説明もなしに検査を受け、突然「陽性」という結果を郵送で告げられ混乱してしまったご夫婦が各地におられます。このような状況をなくすために、35歳以上に限定した「臨床研究」を中止する方向で検討がなされています。また、もっと近くで受けられるように検査可能施設を増やすことも考えられています。しかし、胎児の命を左右する出生前検査ですので、安易に受けてよい検査ではありません。臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーなどの専門家から支援を受けた上で、検査を受けるかどうかを慎重に選択されることを望んでいます。

臨床遺伝専門医 佐世 正勝

「おぎゃー!!!」
in 助産院 Sun

助産院でお産ができる方は、
※妊娠経過が正常な経産婦で、医師より助産院でのお産が可能と言われた方
※ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方
※当病院の産科外来を受診されている方です。



寄稿者の都合により掲載を割愛させていただきます

センター稼働状況

分娩数	48件	緊急帝王切開	8件
母体搬送	3件	NICU稼働率	75.0%
新生児搬送	4件	MFICU稼働率	98.9%

(平成30年7月)

『夏だ!花火だ!』



編集後記

先月号の「マタニティレシビ」でも紹介しましたが、最近、枝豆パワーが注目されていますね。枝豆に含まれるビタミンB1とB2が糖質や脂質を分解してエネルギーに変える効果があるそうですよ。栄養価は高いのにカロリーは少なく、また妊娠に必要な葉酸も摂れる枝豆。スタミナ不足になりがちな夏に持ってこいの食材ですね!
(C.K☆N.S☆Y.M☆K.H)



周産期センターキャラクター マミー&メイ